五千八十人が立派に成人
きょう市体育館で式典

きょうは成人の日。式典が午前十一時から市体育館で行われます。ことし成人する若人は昭和二十九年四月二日から同三十年四月一日までの間に生まれた人で、五千八十人（男二千五百四十九人、女二千五百三十一人）です。成人の日は、立派に成人したことをお互いに喜び合い、社会人となった責任を自覚し合うよい機会です。

会場の受付は、午前九時から行われます。案内状は、前もって対象者に届けてありますが、案内状の届いていない方も、どうぞご参加ください。当日会場で受け付けしますので多数おいでください。

成人の日にちなんで次の記念行事が催されます。

はたちの主張 入選者表彰

入選者の鍋谷美津恵さん（白山浦一、看護学校学生）と後藤正代さん（春日町四丁目、会社員）の二人に表彰状と記念品が贈られます。

緑化推進募金

きょう会場で、新成人の有志が緑化募金を呼びかけ、その募金を新潟市・緑と花を育てる協会へ寄付し、まちの緑化に役立てます。

献血

式場前の献血車"ゆうあい号"が、午後一時まで、献血を呼びかけます。

献血は人を救う
いざという時の自分のためにも —愛の献血お願いします—

ケガや病気で毎日のように、たくさんの血液が輸血で使われています。もし、血液がなくなったら尊い生命を救うことができなくなるのです。

常に輸血に必要な血液を確保するうえで、"献血"がきわめて重要なウェートを占めています。

輸血が必要な人に無償で提供すると同時に、皆さんが逆に輸血の必要な場合に、健康な献血の保存血液をもらうことができるわけです。

皆さんも愛の献血運動にぜひご協力をお願いします。

〈血液のはたらき〉

栄養、酸素を初め、ホルモン、免疫物質の運搬、細菌や有害物質の除去、炭酸ガスなどの排出物を運び出すなど、きわめて重要なはたらきをする。何ものにもかえがたい尊いものです。

人体の全血液量は、体重の八㌫あまり、また体内をひとめぐりするのに、約十八秒間だといわれています。

医学の発達した現在においても血液を人工的に造ることは、不可能です。この意味でも、献血による以外、必要量を確保することができないのです。

〈血液型〉

輸血の際、問題になるのが血液型です。血液型の種類はきわめて多いのですが、大別すると「ABO式」と、「RH式」の二種類になります。

この二種類の血液型が一致しないと安全に輸血ができません。ふだん、自分の血液型を知っておけば、不慮の事故、緊急の輸血にたいへん役立つことになります。

〈安全な献血〉

献血と聞くと、不安感をいだく方がおられますが、採血前に健康診断を行い、健康を確めてから献血していただきますので、きわめて安全です。

献血ができる方は、満十六歳以上六十五歳未満で、体重が男子で四十五㌔以上、女子は四十㌔以上に限られます。そして、前回の採血から一か月以上経過し、最高血圧百㍉以上、血液比重一・〇五二以上であること。現在妊娠中および過去六か月以内妊娠されていた方は除かれます。

〈献血するには〉

移動採血車、血液センターで献血していただきます。

採血車「ゆうあい号」の場合、事業所や町内会単位で百人程度の申込があれば、希望の場所で行います。また半日単位で五、六十人程度でも結構です。

血液センターでは、毎週月、水、金曜日、午前九時から午後四時まで受け付けています。場所は関屋下川原町一丁目、電話が31－三一二五番です。

献血していただいた方には、献血手帳とバッチを差し上げています。

「はたちの献血」

この十日から三月十日まで、BSNラジオで、「はたちの献血」と題し全国民放ラジオ53社統一キャンペーン放送を行っています。皆さんもぜひ、この運動にご協力ください。

はたちの主張

こんな人生を送りたい
鍋谷 美津恵（白山浦一）

人間にとって一過性のもの、それは人生。生まれてから死ぬまでの間に人間はいろいろな事に遭遇し、考え、行動し、喜んだり悲しんだりしながら一生を送り、そして死ぬ前に自分の一生を振り返り、社会にとっても自分にとっても価値のある人生であったかどうかを問うのだと思います。誰もが自分なりに満足できる人生でありたいと思うからです。

現在私は、市内の准看護学校二年に在学しています。看護の道を志す私の仲間は、男女あわせて十八名で、十六歳から四十五歳までの人達が机を並べています。その中にいると、得られること、考えさせられることが多くあります。

私がこの学校を選んだ理由は、総合病院の看護婦になるためではなく、肢体不自由児、精神薄弱児の施設に勤務したいと思ったからです。そのような施設で働くためには、保母の資格か、准看護婦以上の資格が必要と知り、できればその両方を取得したかったのです。保母の資格は独学でも、国家試験に合格すれば取得できますが、医療専門技術である看護婦の資格は、二年以上准看護学校で専門の訓練を受け都道府県知事の免許を取得し、さらに三年以上看護学校で修業して国家試験を受けて、厚生大臣の免許を取得しなければなりません。それで今の学校に入学したのです。保母試験の一部科目は高校時代に合格しました。准看護学校在学中に残る科目にどうにか合格して、保母資格証明書をもらいました。苦労して取得しただけにうれしさもひとしおで、施設に働きたいという気持ちも一段と強まりました。

私の理想は、施設に働き、障害児たちに生きる喜びや自信を持たせるために、精一杯見守り、育ててやれるような職員となることであり、自分自身も、たくましく生きるための教養を身につけ、常に前向きの姿勢で、向上心を忘れない、あたたかい人になることです。そしてこの人生を選んだことが「私にとっても社会にとってもよかった」と思う事ができる人生、そんな人生が私の夢です。そのためには誠実さ、礼儀正しさ、協調性、どんな苦しみにも、負けない勇気など人生の基盤になるものを青年期に作っておきたいと思うのです。とかく現代青年は、自己中心的で見通しをもたず、根性に欠けていると大人から聞かされますが、私は自分の選んだ職業を通して、自らの能力を引き出したいと思います。我が道を愛し、誇りにして生きることが自分を支え、喜びとなり、人生を悔いなく過ごすことになるのではないかと思います。将来、結婚して子供を育てて、あたたかく、楽しい家庭を築くためにも、この二十歳を人生の栄えある出発とし、頑張るつもりです。

新成人スキーのつどい

- ◎日時 一月二十六日、午前七時三十分出発
- ◎行先 浦佐スキー場
- ◎人員 百人（先着順）
- ◎集合 当日午前七時十五分までに日本銀行前に集合。
- ◎参加 一人五百円。
- ◎申込 一月二十一日までに、はがきに氏名・住所・勤務先・連絡先（電話も）を明記して次のところへ申し込んでください。

▼市内西堀通六、市教育委員会 社会教育課

飲酒運転を追放！
飲んで乗る あなたは天国 家族は地獄

市では、「飲酒運転追放一〇〇日運動」を、昨年十一月から今年二月十八日まで強力に進めています。

これは、交通事故の中でも、もっとも悲惨で大きな事故を招く交通三悪の一つである飲酒運転が減少しないため、飲酒の機会が多い時期を捉えてその防止を図ろうと実施しているものです。

酒を飲んで運転すると「視野が狭くなる」「操作・反応が不安定不正確になる」「視覚・動作がにぶくなる」「気が大きくなり自制心がなくなる」など、高度な技術を必要とする車の運転に非常に危険な状態となります。

このようなことから、警察でも悪質な飲酒運転の違反取り締りを強めていますが、運動が始まって以来、わずか二十日間で事故四件を含む四十三人の違反者を出しており、一日平均二・二人となっています。

飲酒運転には、本人の自覚が第一ですが、同時にいっしょに飲む人や、家族など周囲の人たちの協力も非常に大切です。

お互いに酒を飲んだら絶対に運転しないよう注意し合って飲酒運転を追放しましょう。

なお、「飲酒運転追放一〇〇日運動」が始まった十一月十一日から三十日までの市内の飲酒運転違反状況は右表のとおりです。

「飲酒運転追放一〇〇日運動」違反者状況 ――11/11～11/30――

一、地区別状況

区分／地区	違反	事故	計
本庁		1	1
関屋	4		4
坂井輪	4		4
鳥屋野	5		5
両川	2		2
沼垂	3		3
石山	4		4
大形	2		2
山ノ下	7	2	9
濁川	2		2
南浜	2	1	3
内野	3		3
中野小屋	1		1
計	39		43

二、職業別状況

区分／職業	違反	事故	計
建設業	6	1	7
会社員	25	3	28
板金業	2		2
自由業	4		4
農業	2		2
計	39	4	43

三、年令別状況

区分／年令	違反	事故	計
20代	14	1	15
30代	14	3	17
40代	11		11
計	39	4	43

受講生を募集 ヤングレディー専科

- テーマ 豊かな女性となるために
- 日時 1月22日～3月12日 毎週水曜日、午後6時～8時
- 会場 中央公民館
- 申込 1月22日午後5時半から会場で受け付け。先着順。定員は30人
- 内容 （材料費だけ各自負担）

月日	内容	講師
1・22	話し方教室～"話す"ということ～	BSN放送部長
1・29	〃 ～じょうずな話し方～	星野次男
2・5	〃 ～美しいことば～	中央高校教諭 田宮敬子
2・12	環境と性格形成 (1)	新潟大学助教授
2・19	〃 (2)	榊田久雄
2・26	おしゃれのポイント	北陸学園長 小柳マサ
3・5	かんたんなアクセサリーづくり(1)	北陸学園長
3・12	〃 (2)	五十嵐真知子

償却資産の申告
1月20日までに

昭和50年度の償却資産の申告については、すでに申告用紙をお届けしてありますが、1月20日までに、お忘れなく市固定資産税課へご提出してください。

銃砲刀剣類の登録

- ★とき 1月16日
- ★ところ 下越婦人会館（白山浦1）
- ★登録申請者が審査会に持参するもの

❶登録を受けようとする銃砲刀剣類の「現物」ならびに所轄警察署から交付を受けた「銃砲刀剣類発見届出受理証」❷登録手数料1件につき500円分の「新潟県収入証紙」❸印鑑

求人・求職が電話で！
ダイヤルは㊻－1111

放送時間は次のとおりです。

- 男子向求人 月～土曜午前9時～午後1時
- 女子向求人 月～金曜午後1時～午後5時
- 求人の傾向 土曜午後1時～月曜午前9時および休祝祭日
- 求職者情報 月～金曜午後5時～翌日午前9時。

なお、1週間ごとに新しい情報と入れかえて提供しております。

電話加入権の公売

- ★日時 1月20日 午前10時から
- ★場所 市納税課（市役所本庁4階）

なお、詳しくは市役所内線322番へおたずねください。

50年春の賃上げのゆくえ
賃金関係情報説明会

- ★日時 1月20日、午前9時～午後4時
- ★会場 県中小企業会館（川岸町1）
- ★演題 「労働統計からみた賃金問題」「50年春季賃上げのゆくえ」
- ★定員 100人（先着順により決定）
- ★申込 1月13日～18日までにもよりの労政事務所（支所）、県労政課へ申込書に必要事項を記入のうえ受講料2,000円をそえて申し込みください。